

そとやま

外山のエゾエノキ

指定種別：市指定文化財

指 定 日：昭和 62 年 3 月 27 日

所 在 地：釜石市鶴住居町

樹 種：エゾエノキ

学名 *Celtis jessoensis* KOIDZUMI

科 ：ニレ科

樹 齢：推定約 340 年

寸 法：樹高 33m 幹周 5.35m 根元周 6.7m



鶴住居第 30 地割（外山）、大骨峠の東側の小さな沢を市道から約 700m 登っていくと外山のエゾエノキがあります。

エゾエノキは学名を *Celtis jessoensis* KOIDZUMI といい、イラクサ目、ニレ科、エノキ属に属し、北海道、本州、四国、九州、朝鮮に分布する落葉喬木で、建築材や器具材、家具材に使用されます。また、国蝶

（昭和 32 年日本昆虫学会で指定）のオオムラサキの食草樹でもあります。

エゾエノキは岩手県内においては低山地帯に普通に見られる樹種ですが、巨樹として残っているものは稀で、遠野市の「畑中のエノミの木」などの消失している中で、外山のエゾエノキは極めて貴重な存在です。

外山のエゾエノキの樹下には、神々を奉る燭台や供物の台が残り、植林や山葵を栽培した人々の守護神（御神木）として崇め奉られた様子が偲べれます。

